

大阪府市場だより

第272号
 (平成26年10月28日)
 発行
 大阪府中央卸売市場協会
 茨木市宮島1-1-1
 TEL (072) 636-3698
 FAX (072) 636-3699
 MAIL:36983699@
 iaa.itkeeper.ne.jp



絵:「カボチャ&ハロウィン」 山口 瞳 (大庄水産)

禁煙対策・ゴミ対策の強化を決定

定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が10月23日9時30分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長(府水産物卸協同組合理事長)の挨拶の後、議事が進められた。議題1、市場開放デー実行委員会の榎本委員長から、市場開放デーの開催について、①3万人の来場者を迎えるよう準備、②水産・青果のメーカーや大学等の協力をいただき、多彩なイベントを実施すること、③開会前に理事長の挨拶、そして開会宣言、来賓や役員とゆるキャラとの写真撮影を予定していることなどを説明。「来場者にお買得感・満足感、そして身近に府市場を感じてもらえるよう進めている。皆様には一層のお力添えをお願いしたい」と挨拶された。山口議長から、回を重ねた慣れには、十分気を付けて進めてもらいたいと述べられた。

議題2、管理センターの宮前統括から2頁の通り報告があった。

特に、段ボール箱入りねぎなどのゴミの大量投棄が続いていることが写真の資料で指摘された。

山口議長から、このゴミの分別処理に人を取られている、特にカメラの設置していない青果Fゴミ置場に大量に投棄されているので、その対策としてカメラの設置を提案され、了承された。また、ゴミの分別にさらに取り組んでいたと述べられた。

東野・青果卸売協同組合理事長から、青果仲卸棟カラス・ハト除けテグスについて、十字に張っており非常に効果的でありがたいとの話があった。

議題3、禁煙対策について、宮前統括からの吸殻によるポヤが多発している、吸殻が市場見学者の目にもとまっているとの報告を受けて、山口議長から、一部喫煙場所を除き、せり場を含め場内を全面禁煙にするなど、強気に組みたいとの考えを示された。小増・うおいち支社長も食品を扱っているので、きっちりやりたいと述べられ、常駐代表者が率先して禁煙運動を強力に進めることになった。府の査察担当者も、これまで以上に禁煙指導してもらいたいと述べられた。

宮前統括から、禁煙対策として、ステッカー類を貼ること、周知のための通知文を出し、発見されればペナルティをというように検討したいと述べられた。

議題4、大阪税関長から北部冷蔵サービスセンターに対し、9月26日付で保税蔵置場の許可がされたことについて木場府次長より報告され、山口議長から卸各社の協力を依頼された。



次に、事務局から、ソフトボール大会、計量器検査、文化祭、フォークリフト運転技能講習会、11月5日の場内一斉大掃除予定などが報告された。(3・4頁参照)

東野理事長から冷蔵施設の電源容量の増量について要請があり、山地府場長が管理センターの協力を得ながら、今後優先的に実施したいと述べられた。

西谷・食品流通センター社長から、府保有株式会社売却先の再公募状況が報告された。

木場府次長から、水産立体駐車場A棟塗膜防水修繕工事が10月末で完了予定などの報告があった。また、府の直接集荷検査などを実施したことが報告された。

市場開放デー準備進む

第3回市場開放デー実行委員会

市場開放デー実行委員会(榎本昭弘委員長)府水産物卸協同組合(副理事長)は10月10日に第3回目の委員会を開催した。



榎本委員長は挨拶の後、市場開放デーの開催準備について協議し、次のとおり決めた。

① 市場開放デー当日のスケジュール：「6時会場内散水車走行、6時半から8時会場設営、8時関係者の配置、8時30分粗品進呈開始、8時55分理事長挨拶、8時59分実行委員長オープニング宣言、9時販売・試食等開始、12時開放デー終了、12時30分設営機材撤収、14時散水車走行」で決定。

② イベント内容は下記のとおり。

③ 各社・各団体の応援者業務の内容を決定

④ 警備員・車両導線・誘導応援

市場活性化事業

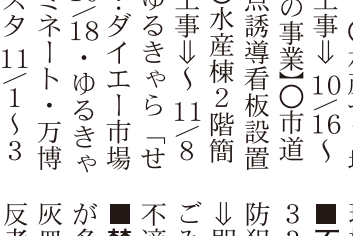
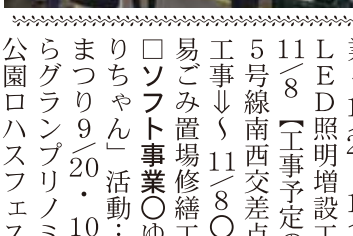
大阪府中央卸売市場では、産地や大学、量販店・ホテルなどと連携し、生鮮食料品の消費拡大キャンペーンや食育事業などさまざまな活性化策を展開している。

▽新阪急ホテルとの連携

新阪急ホテルでは、8月に府市場の協力で産地フェアが開催



ピや食べ方の提案などの情報発信などが提案され、府市場側からもシェフへの食材情報の提供などが提案されるなど、活発な意見交換があった。また、第2部として、産地、仲卸、卸会社からおすす



され、同ホテル内のレストラン「オリンピア」では府市場とのコラボレーションメニューが提供されているが、さらなる連携を深めるため、10月15日に府市場でホテルと府市場の企画提案会を開催した。この会議では、第1部で、新阪急ホテル側から、産地フェアの開催や学生のレシ

め食材がPRされ、シェフと産地等の担当者とのフリー商談会や試食なども行われた。出席者らは、相互に大きな刺激を受けて次回につなげようとの声が上がっていた。(写真①・②)

また、シェフの皆さんが市場を視察、仲卸事業者と熱心に意見交換していた。(写真③・④)



者の配置を決定
⑤ 配置図について決定
⑤ チラシ案を決定(4頁)
なお、写真は出版を待つ57kgの巨大かぼちゃ。(当日は5個用意されている。)

市場開放デー イベント予定 (※品物は入荷状況により変更があります。一部です。)

粗品進呈	先着1,000名
旬の野菜・果物の即売	大根、キャベツ、白ネギ、白菜 キュウリ、ナス、メークイン、南瓜 りんご、みかん、焼き栗、柿、 ラ・フランス、バナナ
旬の魚等の即売	養殖活け鯛、活けズワイガニ ぶり、ムキえび大、泳ぎふぐ 泳ぎたこ、秋刀魚、さば、 練り物揚げ売り、ちりめんじゃこ
鮎の解体・即売(北鮎会)	マグロ 解体・販売
鮭のチャンチャン焼き	鮭のチャンチャン焼き試食・切り身の販売
青果メーカーコーナー	きのお好み焼き・焼きそば、じゃがいもキムチ鍋
水産メーカーコーナー	おでん食材、珍味、焼きそば、冷凍水産物
食育コーナー	・産地当てクイズ・スーパーボールすくい ・模擬せり・食育カード合わせクイズ 大阪産農産物の啓発・食育の啓発
加工食品の試食・販売	だし巻、う巻、日本茶、棒ずし、乾物
関連店舗コーナー	コロッケ、から揚げ、焼きうどん、焼きとうもろこし
巨大魚の展示	
巨大かぼちゃの展示	5個
スピードくじ(はずれなし)	・1回100円 ・多数豪華賞品有り

管理センターからの報告(要旨)

宮前統括から、次の通り報告があった。

■活性化事業(主要事業)

○ハード事業「前回以降完了事業」○仲卸棟2階トイレ改修(給湯室含む)：水産Aブロック東、水産Bブロック東、青果Cブロック東○青果仲卸棟カラス・ハト除けテグス張り工事「工事中の事業」○青果側外周フェンス改修事業↓10/20、11/8○水産セリ場LED照明増設工事↓10/16、11/8

■「工事予定の事業」

○市道5号線南西交差点誘導看板設置工事↓11/8○水産棟2階簡易ごみ置場修繕工事↓11/8

○ソフト事業

○ゆるきや「せりちゃん」活動：ダイエー市場まつり9/20・10/18・ゆるきやらぐらんぷりノミネート・万博公園ロハスフェスタ11/1〜3

■禁煙対策

○吸い殻による小火が多発○トイレ内禁煙の徹底↓灰皿撤去、ステッカー貼付、違反者に対するペナルティの賦課

■修繕事業

○114件、1900万円(上半期実績)

■改修事業(資本的支出、大阪府の代行、燃料電池導入による財源充当)○水産棟東系統動力幹線改修工事(6480万円)↓10/27、3/15

■委託事業

○青果側高木剪定↓10/28、11/7○水産・青果・管理棟周辺緑地帯剪定↓11/3、7

■不法投棄の防止徹底

○7月133件、8月62件、9月36件○防犯カメラによる投棄者の特定↓即警察へ通報、告発○青果Fごみ置場(カメラ無)への大量不適切な投棄

市場見学・研修でにぎわおう！

市場見学や研修で府市場を訪れる団体などが相次いでおり、10月だけでも、茨木市や高槻市、箕面市の小学校11校、長野県の農業高校、韓国の水産物流通公社、新入職員研修の企業など多彩な顔ぶれであった。

「株さとう」の新入社員が市場見学

10月3日、「株さとう」の新入社員研修が府中央卸売市場で行われ、市場流通の実態を学んだ。「株さとう」は、近畿で大型ショッピングセンター、食品スーパー、レストラン、ファッション衣料専門店などを展開する350年の歴史を有する総合流通企業であり、府中央卸売市場が仕入れの基盤ともなっている。

この見学会は、安全安心な生鮮食料品を安定的に提供する市場の実態を新入社員に知ってもらおうと毎年恒例行事として実施されている。今回は、人事関係者とバイヤー計10名の引率のもとに新入社員30名が参加して実施された。見学会は、水産卸の株うおいち社員による案内で、水産・青果の卸売



場や仲卸業者の協力により仲卸店舗の商品見学や生マダゴの解体の見学等が行われた。新入社員は終始緊張していたものの、和やかな雰囲気の中で、魚種や加工手順等の多くの質問が投げかけられ、実りのある有意義な研修となったようである。

熱心な小学生の集団に囲まれ、「この魚の名前を知ってますか？」の問いに、アジ、サンマ、ヒラメなど口々に答える子どもたちの元気な声。市場の一角に黄色い帽子の花が咲いたようであった。



衛検査だより

ふぐの食中毒にご注意！

食品衛生検査所

ふぐの食中毒は、毎年全国的に発生しています。平成25年には全国で16件発生（患者数21名）で、大阪府では1件発生（患者数1名）しています。ふぐの毒は、テトロドトキシンという物質で神経を麻痺させます。この毒は猛毒であり、煮たり焼いたりなど調理での加熱では分解されません。中毒症状は人の個体差や、毒量により異なりますが、食べから20分から3時間でしびれや嘔吐、重篤な場合は呼吸麻痺などの中毒症状を起し死に至ります。

また、ふぐの食中毒の多くは自分で釣ったふぐなどを自家調理し食べたことが原因です。ふぐの取扱いには専門の知識と技術が必要です。素人の取扱いは非常に危険です。特に肝臓と卵巣は毒性が強いので、決して食べてはいけません。毒性にはふぐの個体差、季節差などがありますが、天然と養殖で可食できる部位は変わりません。（養殖ふぐの肝臓で食中毒事例があります。）販売・提供が認められている肝臓はありません。最近、スーパー等で販売され

る小魚などにふぐ稚魚が混入している事例が全国的に報告されています。よく確認していただき、誤って食べないようにしてください。

大阪府では、ふぐを取扱う業者は、施設ごとにふぐ取扱登録者を設置し、保健所からふぐ販売営業の許可を受けており、許可証を店舗の見やすい位置に掲示しています。ふぐの販売提供が認められた施設で適切に処理・調理されたふぐを食べるようにしてください。正しい知識を持って、安心・安全にふぐを堪能してください。

計量器の定期検査始まる

今年度はじめての計量器定期検査が水産物卸協同組合の事業者を対象に実施された。10月6日朝7時から、府市場協会所属の信岡昭洋計量士によって、同組合事務局の協力のもと、次々と検査を実施した。

次回は11月13日に、卸売会社などが予定されている。



フォークリフト講習会を開催

府市場協会安全部会が開催する「場内フォークリフト運転技能講習会」は、10月8日から26日まで開講。30人が受講している。

講習会は、茨木労働基準協会の出張講習で、市場休場日の4日間、貴重な休日を使つての朝8時から夕方5時までの講習であったが、受講生は真剣に取り組んでいる。



正月用加工食品の展示会

株うおいちと株大水の両北支社は、10月7日に府中央卸売市場の水産棟3階と4階の各社の会議室で、それぞれ「お正月商材展示会」、「正月用煉製品・加工食品展示会」を開催した。価格は昨年より上がっている中で、細工蒲鉾を中心に引き合いが多く、また地方物メーカーに対する引き合いも多数あったとのこと。会場は多数の来場者で盛況であった。



場内一斉大掃除

11月5日（水）

市場協会安全部会（部会長・東野達雄府青果卸売協同組合理事）では、市場開放デーの開催に伴い、今年度3回目の大掃除を実施し、来場者に清潔な市場であることをアピールすることとしている。

新着図書案内

※後書業

黒川 博行 著 文藝春秋

※明日の子供たち

有川 浩 著 幻冬舎

※フォルトゥナの瞳

百田 尚樹 著 新潮社

年に一度のお楽しみ! 大阪府中央卸売市場で **食べよう! 遊ぼう! 学ぼう!**

イベント 1 旬の野菜・果物・魚の即売
 当市場仲卸組合 (大倉島・トマト・おひら・ゆい) 水産メーカー及び当市場仲卸組合 (松葉カニ・セコガニ・ブリ・鱈・うなぎ等)

イベント 2 マグロの解体・即売
 熟練したプロの技で、生のマグロを豪快にさばり! 滅多に見られない、マグロの解体をお楽しみください!

イベント 3 食育コーナー
 ●キッズ市場・産地当てクイズ (おみやげ・賞品あり)
 ●大阪産(おおさかもん)農産物の展示

イベント 4 巨大魚の展示

イベント 5 加工食品の試食・販売
 (焼きそば・おでん・お茶・コーヒー・餅すし等)

先着 1,000名様 粗品進呈 AMB:30~

大阪府中央卸売市場 市場開放デー
 11月9日(日) 9時~12時

大阪府中央卸売市場開放デーのご案内

イベント 6 鮭(サケ)のチャンチャン焼き
 ●販売...切り身 ●試食...鮭のチャンチャン焼き

イベント 7 スピードくじ
 1枚100円 空くじなし 多数豪華賞品あり

イベント 8 食品衛生検査所 手洗い体験コーナー
 手洗いチェッカーを使い実演でチェック!

イベント 9 せりちゃん
 大阪府中央卸売市場 マスコットキャラクター登場! 府公認キャラクター もずやんも来るよ!

卸売業者取扱高 (平成26年9月) 大阪府中央卸売市場

卸売業種	種類	数量 (トン)	前年比%	金額 (千円)	前年比%
青果	野菜	11,902	105.6	2,847,069	108.0
	果実	5,174	106.6	1,560,550	109.3
	小計	17,075	105.9	4,407,619	108.4
水産物	生鮮水産物	2,489	118.2	1,795,446	113.7
	冷凍水産物	361	79.0	379,195	93.6
	加工水産物	1,309	94.6	1,024,298	95.0
	冷凍食品	368	132.7	175,065	117.8
	小計	4,527	107.2	3,374,004	105.1
卸売業計		21,602	106.2	7,781,623	107.0

開場日数 平成26年9月 23日 25年9月 22日

卸売業者取扱高 (平成26年度上半期累計) 大阪府中央卸売市場

卸売業種	種類	数量 (トン)	前年比%	金額 (千円)	前年比%
青果計	野菜	72,408	103.8	14,913,318	108.9
	果実	28,072	98.0	9,003,158	103.7
	小計	100,480	102.1	23,916,477	106.9
水産物計	生鮮水産物	12,538	104.8	9,931,793	109.0
	冷凍水産物	2,483	86.9	2,395,441	100.2
	加工水産物	6,856	93.7	6,080,282	104.6
	冷凍食品	2,095	120.8	971,900	106.8
	小計	23,972	100.4	19,379,417	106.3
卸売業者計		124,452	101.8	43,295,894	106.6

平成25及び26年とも4月~9月 開場日数 137日



水仲Bチームが優勝

ソフトボール大会

府市場協会主催の第36回ソフトボール大会は、9月17日から26日の5日間に、9チーム135人が参加し、例年に比べて涼しい絶好の気候のもと、熱戦が繰り広げられた。

決勝戦は、水産物卸協同組合Bチーム(監督:西川伸一、主将:川崎陽、他13名)と青果卸売協同組合Aチーム(監督:阪口充、主将:下井康裕、他13名)の組み合わせで、水産物卸協同組合Bチームが優勝した。写真は、表彰式後の和やかな両チーム。(敬称略)

華やかに文化祭を開催

00人の来場者があり、作品を興味深く鑑賞していた。

府市場協会が主催する恒例の文化祭が、10月16・17日の2日間、管理棟1階ロビーで開催された。文化祭は、府市場協会の会員所属構成員が余暇を活用して作り上げた絵画、書画、彫刻、写真、手工芸などの作品を発表・展示する場として開かれ、今年で35回目を数える。

今回は例年より多い、72人が出展し、日ごろの研鑽の成果を示す151点の力作が展示された。2日間の開催期間中には、約2



来場者からは、プロ顔負けの作品に、賛嘆の声が聞かれるとともに、今回は自分も出展したいとの声も出ていた。その一部を写真で紹介。